

(別紙)

推薦書の記載及び作成上の留意事項

1 推薦書は、様式1～4により推薦団体で作成してください。

2 対 象

「**体育功労章**」・・・・・・スポーツの発展または地域スポーツの普及振興に著しく貢献のあった個人。
(原則として10年以上、55歳以上)

「**優秀指導者賞**」・・・・・・(1) 選手の育成強化に努力し、優秀な成果をあげた個人。
(原則として指導歴5年以上)
(2) 地域職域において、スポーツの指導普及に著しく貢献した個人。
(原則として指導歴10年以上)

「**スポーツ賞**」・・・・・・当該年度の全国大会等において、上位に入賞した選手、または団体。
(全国大会等とは、国民スポーツ大会、各競技団体主催の全日本選手権大会、全日本学生選手権大会、全日本実業団選手権大会、全国高等学校総合体育大会、全国中学校選抜大会その他これら以上の大会)
(上位とは、3位以内の入賞とする)

「**スポーツ敢闘賞**」・・・・・当該年度の全国大会等の入賞者で、スポーツ賞以外の個人、または団体。
(4位からその大会の表彰規程に定める入賞とする)

「**スポーツ奨励賞**」・・・・・当該年度において職域、または特別の出場制限を設けた全国大会等に、上位に入賞した選手、または団体。(上位とは、3位以内の入賞とする。ただし、小学生においては大会規程に定める入賞とする)

「**特別賞**」・・・・・・(1) 本県在住者及び本県出身者で、オリンピック大会に出場した選手並びに国際大会で優秀な成績をあげた選手。
(優秀な成績とは、その大会の表彰規程に定める入賞とする)
(2) 本県が開催する全国規模の大会等において著しく貢献した者。
(3) 各競技における特別な資格を取得する等して、本県のスポーツの充実、発展に著しく貢献し、他の規範となった者。

「**感謝状**」・・・・・・本県スポーツ協会の発展とスポーツ振興に顕著な功績があった者。
(その職を退任する際に表彰する。競技団体の会長10年以上)

3 基準日

- ・指導歴等の基準日は表彰年度の4月1日現在とし、年齢は令和8年3月31日現在とします。
- ・スポーツ賞・スポーツ敢闘賞・スポーツ奨励賞及び特別賞は表彰年度における大会とします。

4 体育功労章及び優秀指導者賞の推薦は1団体1名とします。

なお、経歴・推薦理由等は100文字以上200文字未満で記入してください。

また、別添「推薦要件チェック用紙」に必要事項をご記入の上添付してください。

5 団体(チーム)の構成メンバーについては、当該大会開催要項のエントリー数に基づく選手全員の氏名を記入してください。(補欠含む。ただし監督・コーチ・マネージャーは対象外とします)

- 6 大会名は、省略せず正式名称を記入してください。(年度・回数等を記入)
- 7 スポーツ賞・敢闘賞・奨励賞の該当大会については、開催要項の写しを必ず添付してください。
(国体及び高体連、中体連主催の大会は除く。ただし共催の場合は添付してください)
- 8 候補者の氏名には、必ずふりがなを記入してください。
- 9 市町村競技団体や町村体育・スポーツ協会が推薦する場合は、郡市体育・スポーツ協会で協議し必ず郡市体育・スポーツ協会長名で推薦してください。
- 10 体育功労章、優秀指導者賞は、郡門市体育・スポーツ協会及び競技団体は共同で推薦することが出来ます。
この場合、双方の協議により、いずれかの団体から推薦し、他は副申をつけてください。
- 11 スポーツ賞・敢闘賞・奨励賞の推薦については、原則として競技団体が行ってください。ただし、特別の事情により郡市体育・スポーツ協会が推薦する場合は、競技団体の了承を得てください。
- 12 感謝状の該当者がある場合は、各加盟団体で推薦書を作成してください。
- 13 故人の場合は、亡くなられてから1年以内に推薦してください。
- 14 その他
 - (1) 小学生については、スポーツ奨励賞として表彰します。その場合、競技団体から推薦されたものについてのみ表彰の対象とします。
 - (2) シニア大会・マスターズ大会等については、主催者が中央競技団体の場合はスポーツ奨励賞の対象となります。ただし、ねりんピック及びスポレク大会等については対象となりません。
 - (3) 表彰後においても、春の選抜大会等、令和8年3月31日までに開催された大会等は対象となりますので、これらの大会で入賞者があった場合は、改めて推薦してください。(令和8年4月10日までに推薦してください。)